

# 公益財団法人ひろしまドナーバンク

## 令和3年度事業実施報告書

(令和4年3月31日現在)

本年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染者拡大による自粛期間等の影響を受け予定した事業の遂行が難しい状況が続き、代案やウェブ等を使用しながら事業を行った。

献眼の推進に関しては、ライオンズクラブ等のイベントの開催が少なかった影響から献眼登録者数が少なく、対策として献眼推進委員会からライオンズクラブへ、献血事業との同時啓発の実施について検討をお願いした。また、アイバンクサポーターの育成、強化のため、日本アイバンク協会認定サポーター講習会を開催し、献眼の連絡や対応について再確認を行い、献眼実績に繋がる取り組みを行った。

移植医療の推進に関しては、院内体制整備のための院内移植コーディネーター研修会をウェブ配信により実施し、5類型施設のほか本年度は心停止後臓器提供が可能な県内施設、更に県外のコーディネーター等へ案内を行い多くの参加を得た。また、代替え事業として、臓器提供の意思を確認するためのツール「広島県からのお知らせ」を作成し、県内の心停止後提供可能病院を含めた約250の施設へ配布した。一般県民への啓発活動としては、移植医療についての出前講座が平時よりは減少しているものの実施することが出来た。地域でのイベント等が自粛となっていることから、昨年に続き日本臓器移植ネットワークの都道府県支援事業特別枠により、コロナ禍でも実施できるブックカバーデザインを募集するグリーンリボンブックカバーデザイン公募を企画し3月に協力書店へ配布を行った。

造血幹細胞移植の推進では、ドナー登録会の計画自体が難しい状況の中となったが、行政や広島県赤十字血液センターの協力のもとドナー登録会の開催件数を確保することができた。また、3大学40名の学生が新規説明員の資格を取得しボランティアとして参加した。

そのほか、古くなっているドナーバンクのホームページの刷新し、情報発信のツールとして活用できるよう進めているところである。

昨年延期とした「献眼・献腎合同慰霊式」は、本年度中の開催が見込めないため中止とした。

財政基盤の安定のための「ドナーバンク支援自販機」設置促進について、本年度6台が新規設置となり現在59台となっている。

具体的な事業としては、次のような活動を行った。

# 管理部門

## 1. 一般寄付金

9, 6 6 6, 8 4 8 円

寄 付 者	金 額
ドナーバンク支援自販機	5, 295, 319
ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区	3, 000, 000
中国電力労働組合	1, 000, 000
屋敷安代	50, 000
小林正夫	50, 000
日谷眼科	40, 000
重河康弘	35, 000
三嶋 弘	30, 000
元林 大	30, 000
松村 宏	30, 000
山口園生	30, 000
渡辺 環	20, 000
広銀ボランティア口座 43 件	18, 529
渡部朋子	12, 000
坂井 進	10, 000
保久早苗	10, 000
余頃礼子	6, 000
寄 付 合 計	9, 666, 848

## ○ドナーバンク支援自販機による寄付金（内訳）

5, 2 9 5, 3 1 9 円

設 置 場 所	台数	金 額
広島大学病院 広仁会館、P1 立体駐車場前、霞体育館、中央診療棟、臨床管理棟 3 階、 1 階待合口、2 階待合口、2 階みどりの広場、2 階エレベーター横 整形外科待合前、B F 1 階エスカレーター前	11	2, 223, 678
広島市立安佐市民病院	2	577, 438
木村眼科内科病院（1 階ロビー、4 階ロビー）	2	260, 636
中国労災病院	1	241, 660
株式会社福屋	2	219, 685
熊谷組（安佐市民病院建設現場）（★撤去）	0	218, 973
三次中央病院（救急病棟内・夜間休日出入口・バス停横）	3	159, 892

広島電鉄株式会社	2	158,400
株式会社ヒロテック（ドーム）	1	133,762
（医社）仁慈会安田病院	1	133,596
戸田工業株式会社（大竹工場2、創造センター1）	3	124,565
（公社）広島市身体障害者福祉団体連合会 （広島総合リハビリテーションセンター）	1	75,290
二階堂眼科	1	72,756
J A尾道総合病院	1	70,909
株式会社ニシキタクシー	1	66,914
J A広島総合病院	1	66,317
サンデン株式会社	1	44,260
医療法人仁光会日谷眼科	1	40,000
有限会社あおぞら（青空マート）	1	34,420
広島市医師会	1	34,414
メリーホスピタル（ワタキュー）	1	31,982
株式会社MASUDA	1	30,870
ユニテック工業株式会社	1	29,120
プルデンシャル生命保険会社福山支社	2	27,450
広島県医師会館	1	24,470
福山松永ライオンズクラブ	1	22,980
大成建設（サッカースタジアム工事現場）（★新規）	2	21,820
荒木脳神経外科病院	1	21,234
医療法人井之川眼科医院	1	21,036
株式会社広島銀行本店（★新規）	1	19,360
つまもと眼科	1	17,664
J A吉田総合病院	1	13,280
安芸市民病院	1	11,285
医療法人J R広島病院	1	10,700
学校法人 銀河学園（★新規）	1	10,640
広島スチール工業株式会社	1	7,646
梶川病院	1	6,708
安佐医師会館	1	4,304
北部医療センター安佐市民病院（★新規）	2	3,906
株式会社広島銀行本店仮店舗（★撤去）	0	1,299
設置台数・寄付額	59	5,295,319

## 2. 募金箱（26施設）

809,986円

施設名	金額	施設名	金額
木村眼科内科病院	91,904	山代眼科	22,630
戸田眼科的場医院	87,507	竹田眼科医院	21,071
三好眼科	62,180	石田眼科医院	20,334
藤武眼科	57,847	古吉眼科医院	18,181
藤原眼科	57,582	高陽ニュータウン病院	16,754
小島病院	48,187	ひがき眼科	16,074
つるが眼科	41,842	吉田眼科医院	13,699
福馬外科病院	41,106	奈良井眼科	11,126
岸本眼科医院	38,677	二階堂眼科	8,117
井之川眼科医院	30,500	まつなが眼科	7,386
ひとみ眼科	28,303	木阪クリニック	7,029
阿品土谷病院	27,044	山中眼科医院	5,920
井上眼科医院	23,351	ひかり眼科	5,635

## 3. 賛助会員

2,699,000円

法人会員 152口 87団体 (1,520,000円)

個人会員 393口 249名 (1,179,000円)

## 事業部門

### I. 献眼移植のあっせん事業

#### 1. 角膜提供者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第1号）

①例年同様、献眼についての啓発用のポスター、パンフレット及び献眼申込書を広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等を通じて県民への頒布を依頼し、献眼登録者の確保及び献眼推進運動を展開した。

- ◎献眼ポスター 300部（日本アイバンク協会より）
- ◎献眼パンフレット 作成なし（平成30年度作成分で対応）
- ◎献眼登録申込書 作成なし（令和2年度作成分で対応）
- ◎献眼登録者連絡用マグネットシート 作成なし（令和2年度作成分で対応）

②本年度はライオンズクラブ等が実施する献眼推進運動の開催状況により、献眼登録者数は少なかったが、送られてきた「献眼登録申込書」の記載不備などの確認の後、当該申込者に「献眼登録者カード」「献眼登録者連絡用マグネットシート」を送付した。令和3年度の新規登録者は144名で、死亡・取消などにより実質66名減となった。

◆広島県の献眼登録者（3月末時点） 31,605名（66名減）

前年度末登録者数	31,671名
新規登録者数	144名
献眼者数	17名
取消数（転出・死亡等）	193名
3月末登録者数	31,605名

2. 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第2号）

角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、登録及び管理業務を行った。

◆広島県の角膜移植希望者（3月末時点） 63名（1名増）

前年度末	手術希望者数	62名（62眼）
新規	手術希望者数	25名（25眼）
	移植角膜数	24名（24眼）
	希望取消数	0名（0眼）
3月末	手術希望者数累計	63名（63眼）

3. 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業（定款第4条第4号）

ご提供頂いた角膜は次のとおりで、保存眼等を含み県内2施設にあっせんした。

- ① 献眼数 17名 34眼（保存眼等15眼）
- ② あっせん数 24眼（うち開設以来保存眼5眼利用）
- ③ あっせん先 ア 県内（24）： 広島大学病院（13）  
木村眼科内科病院（11）  
イ 県外（0）

◆全国及び広島県の献眼状況（3月末時点）

献眼者数	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
全国	869	720	725	466	505
広島県	22	18	18	22	17

4. 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔

献眼及び献腎等臓器を提供された方に対し、感謝状の贈呈を行うとともに、弔電、花輪をお供えして弔意を表明した。また、厚生労働大臣感謝状に供物を添えてご遺族に伝達した。新型コロナウイルス感染予防対策として、ライオンズクラブ会員以外の献眼者については、ご葬儀等への参列は控えることとし、感謝状は郵送で対応することとした。

- ① 献眼者 17名（厚労大臣感謝状伝達8名）
- ② 献腎者（脳死提供含む） 3名（厚労大臣感謝状伝達0名1名辞退）

## II. 移植医療の推進に関する普及啓発事業

### 1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

#### 1) 一般に対する移植医療に関する知識の普及啓発

①ライオンズクラブが実施する献眼推進運動やその他イベント等がコロナ禍により自粛または中止となったため、啓発パネル、幟の貸し出しなどによる啓発活動がなかった。

◎パネル利用状況 なし

◎角膜のぼり利用状況 なし

◎移植医療（臓器用）のぼり利用状況 なし

②広島県眼科医会主催の「目の健康講座」への参加（中止）

③例年の地域での健康まつり等は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため参加中止となった。

④広島県眼科医会が主催する「マスコミ懇話会」（中止）

⑤マツダZOOMZOOMスタジアムでの移植医療の啓発活動（中止）

⑥クリエイティブコレクション2021（4/11）での啓発ブースの設置

⑦広島県看護協会移植医療講座に移植医療に関する企画及び支援（1/22）

⑧グリーンリボンブックカバーデザイン公募企画

グリーンリボンをテーマとしたブックカバーのデザインを県民に公募し、応募52作品の中から優秀作品1点をブックカバーとして県内の廣文館書店10か所へ配布を行った。

⑨その他の啓発活動

i. ドナーバンク支援自販機を積極的に設置していただくことにより、献眼及び臓器移植に関するポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行った。

本年度の新規設置台数は6台で現在59台となった。ライオンズクラブ会員のご協力により設置された台数は1台（ライオンズクラブ協力台数9台）

ii. マスコミ各社へ移植医療の普及協力の依頼および取材対応を行った。

（中国新聞社・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・中国放送等へ依頼）

○テレビ新広島 移植医療報道企画支援の為の打ち合わせや取材調整施行

#### 2) 啓発用のポスター及びパンフレット、バンクだより等の作成及び配布

①当バンクで作成したグリーンリボンキャンペーンポスター、リーフレット及び公社）日本臓器移植ネットワークのパンフレットを公共施設、関係団体へ配布するとともに、公財）日本アイバンク協会から購入するポスター等を眼科医療機関及びライオンズクラブ等に配布して、県民への啓発に努めた。

i. 「ひろしまドナーバンクだより」（21,000部）を発刊。

ii. 移植医療に関する啓発グッズや資料を作成し関係方面に配布

グリーンリボンキャンペーンリーフレット15,000枚・ポスター2,000枚作成

iii. 骨髄ドナー登録に関するイベント等で活用して頂くために、チラシ・データ等の資料を作成し提供した。

### 3) 10月の普及推進月間行事の開催・参加

臓器移植関係、骨髄関係のボランティアなどと連携し、企業等の協力を得て移植医療の推進に係る活動を展開した。

①骨髄バンク普及推進月間では、広島県及び広島市などとともに「イオンモール広島府中」の協力のもと「骨髄パネル展」を開催し、最終日に骨髄ドナー登録会を実施した。

○日 時：令和3年9月27日（月）～10月3日（日）

場 所：イオンモール広島府中 1階 ムーンギャラリー

内 容：パネル展、集団登録会（新規登録者10名）

広島県主催の「骨髄バンク推進街頭キャンペーン」は、感染予防対策のため中止とした。

②ひろしまグリーンリボンマラソン 2021（中止）

③グリーンリボンキャンペーンとして、施設のライトアップやパネル展、パンフレット・ポスター等の配布、グリーンリボンドライバーステッカーの貼付により普及啓発を行った。

○グリーンリボンキャンペーンポスター・ステッカー等の配布や展示

協力企業等：広島県タクシー協会 70カ所（2,241枚）

広島県バス協会（1,000台分）

県内図書館（14カ所）

提供病院に展示ブース開設（23カ所）

○本通り商店街アーケードおよび福屋広島駅前エールエールA館および本年度は宇品大橋も加えライトアップの協力をいただいた。

④グリーンリボン推進協会主催のグリーンリボンフェス 2021 への企画準備および支援するとともに会場での啓発ブースの設置

（10/23 移植医療絵画展・音楽ライブ等企画準備支援等）

### 4) 講師等の派遣を行う出前講座を開催

①広島県臓器移植コーディネーター等が、臓器提供・移植に関する講義を行い移植医療の普及啓発を行った。例年開催する出前講座の一部が、コロナ禍により中止となった。

○クリップ広島医療講演(7/25)

○安佐准看護学院(11/15)

○比治山女子中学校(11/18)

○呉共済病院看護専門学校(11/25)

○三次看護専門学校(3/9)

② 献眼・角膜移植、骨髄ドナー登録に関する普及啓発を行った。

○ LCキャビネットWeb会議(7/29)

## 5) 厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦

厚生労働大臣感謝状の推薦は見送りとした。広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦を行い、社会にその業績を披露した。

i 「臓器提供協力」(広島県知事：個人)

○ 福井 英人(福井内科医院 副院長)

ii 「普及啓発活動」(広島県知事：団体)

○ 特定非営利活動法人グリーンリボン推進協会広島支部

## 2. 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業

(定款第4条第7号)

### 1) 献眼の推進に関する事業

① 献眼推進委員会の開催

日 時：令和3年9月22日(水)午後6時30分～

場 所：広仁会館+Web

② ライオンズクラブ会員に更なる献眼推進運動への理解と協力を得るため「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を広島市にて開催した。

(広島地区) 日 時：令和3年11月5日(金)午後2時～

場 所：広仁会館(広島大学霞キャンパス内)

出席者：受講者54名+LC役員4名

③ 角膜摘出協力医に関する研修会(中止)

### 2) 造血幹細胞移植の推進に関する事業

造血幹細胞移植の推進のため、広島県赤十字血液センター、広島県、広島市と患者家族の会「広島つばさの会」「がんの子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会しずく」「山陽女子短期大学SRV」「日本赤十字広島看護大学」などのボランティア団体等と連携し、骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

① 説明員養成研修会の開催(適宜)

② 骨髄ドナー登録者の確保対策への協力

公財) 日本骨髄バンク等が主体として実施する骨髄ドナー登録者の確保のため、行政等の協力により、骨髄ドナー登録会を開催した。

③ 骨髄提供・移植に関する出前講座を開催し普及啓発活動を行った。

○ 広島国際大学(4/26)

○ 比治山大学(7/21)

○ 山陽女子短期大学(10/13)

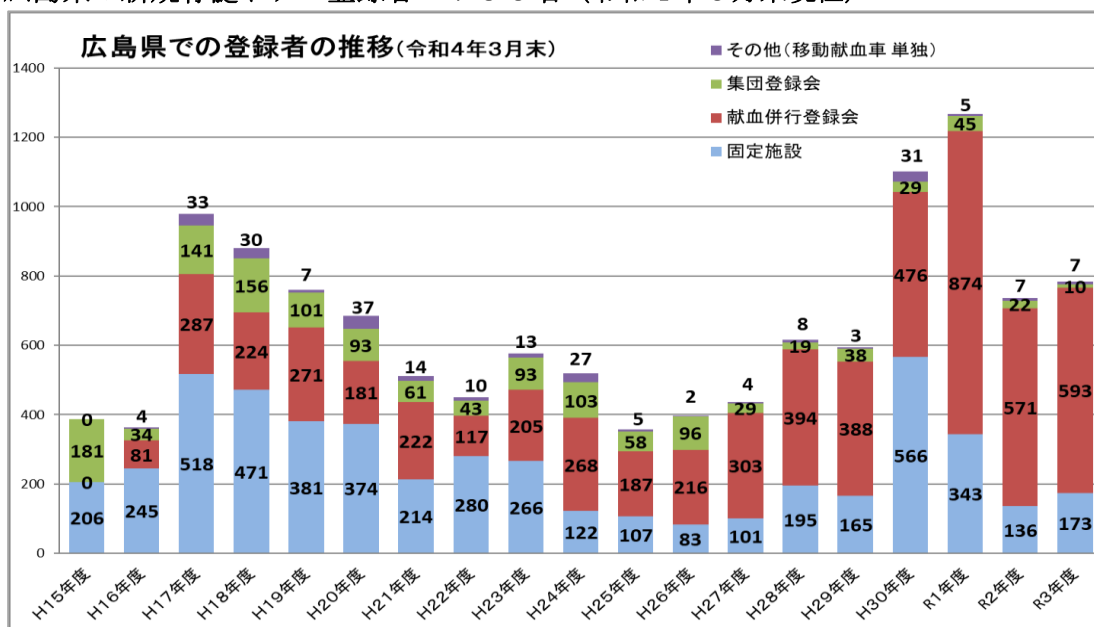


◆ひろしまドナーバンクが実施した骨髄ドナー登録会の回数と人数

新規登録者 603名（令和4年3月末現在）

登 録 会		昨年度	本年度
事前説明会	回数	0回	0回
	登録者		
集団登録会	回数	1回	1回
	登録者	22名	10名
献血併行型登録会	回数	63回	81回
	登録者	571名	593名
合 計	回数	64回	82回
	登録者	593名	603名

◆広島県の新規骨髄ドナー登録者 783名（令和4年3月末現在）



◆骨髄ドナー登録者数・移植希望者数・移植者数・提供者数（令和4年3月末現在）

区 分	全国	広島県	
		実数	人口1万対比
ド ナ ー 登 録 者 数	537,820 (96.2)	10,233 (全国第16位)	84.7 (全国第27位)
患 者 登 録 者 数	1,732 (国内1,259)	25 (全国第13位)	
骨 髄 移 植 者 数 (財団発足後累計)	26,503 (国内26,217)	727 (全国第11位)	
骨 髄 提 供 者 数 (財団発足後累計)	26,528 (国内26,328)	651 (全国第12位)	

注) 提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため

### Ⅲ. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

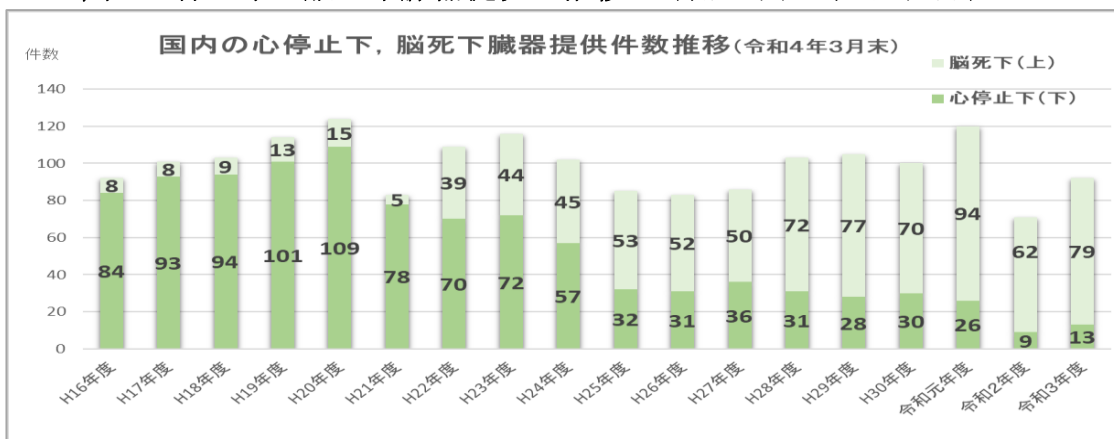
#### 1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

広島県行政や各病院の院内コーディネーターと密接な連携を図りながら、院内体制整備支援を行い臓器移植推進に取り組んだ。本年度の院内移植コーディネーター研修会はウェブ配信とすることから5類型施設のほか心停止後臓器提供が可能な県内施設にも案内を行い、多くの参加者のもと研修会を実施した。

#### ◆献腎登録者 8,870名（43名減）

前年度末登録者数	8,913名
新規登録者数	3名
献腎者数	3名
取消数（転出・死亡等）	43名
3月末登録者数	8,870名

#### ◆全国の心停止下・脳死下臓器提供の推移（年別：令和4年3月末時点）



\*脳死下の内、臓器の提供に至らなかった件数を含む

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
脳死下提供数	全国	72	77	70	94	62	79
	広島	2	2	2	3	0	2
心停止下提供数	全国	31	28	30	26	9	13
	広島	0	2	3	0	1	1

#### 1) 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

院内体制整備の為、院内コーディネーターとの連携強化と臓器摘出における提供病院体制整備の支援を行った。本年もコロナ禍により訪問禁止・自粛期間があり、主にメール・電話・郵送等にて院内C Oと連携を図った。

（臓器提供マニュアル作成、研修会、臓器提供シミュレーション実施への協力）

①対象施設 26施設

広島市民病院、県立広島病院、広島大学病院、廣島総合病院、呉医療センター、中国労災病院、市立三次中央病院、東広島医療センター、安佐市民病院、梶川病院、広島赤十字・原爆病院、マツダ病院、J A尾道総合病院、尾道市民病院、呉共済病院、福山市民病院、大田記念病院、興生総合病院、寺岡記念病院、荒木脳神経外科病院、一ノ瀬病院、五日市記念病院、土谷総合病院、中国中央病院、山田記念病院、三原赤十字病院、

②訪問施設および回数 12施設 25回

広島市民病院、県立広島病院、広島大学病院、広島赤十字・原爆病院、J A尾道総合病院、呉医療センター、呉共済病院、中国労災病院、大田記念病院、市立三次中央病院、廣島総合病院、沼隈病院

## 2) 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

①広島県臓器提供施設協議会(中止) 0回

②院内コーディネーター研修会

(Web 9/27: 約240名、1/27: 約140名、3/2: 120名) 3回

③広島県移植推進委員会(2/18) 1回

④広島県内における速やかな臓器搬送を行うため、臓器搬送関係者等と協議を行い、臓器搬送システムの構築とマニュアルを作成した。本年度は県庁で広島県内担当者一同とウェブ会議にて検討を行った。

臓器搬送関係者会議 開催件数 4回

○広島市消防局(4/9)

○広島県庁(4/16)

○広島空港(6/18)

○臓器搬送会議(12/3)

## 3) 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動等

研修会を開催し、院内での臓器提供発生時の役割等を検討する機会としていたが、コロナ禍により多くの病院で延期や中止となる中、広島赤十字原爆病院・荒木脳神経外科病院・JA 広島総合病院の3施設に新たに東広島医療センターが加わり、県内4施設が院内体制整備支援事業に申請され、臓器提供に係る院内体制整備を行った。

①院内研修会・勉強会・臓器提供シミュレーションの開催及び支援・協力 6回

○沼隈病院 移植医療研修会(10/12) 約100名

○広島市民病院 検査技師研修会(11/5) 約10名

○広島赤十字原爆病院 シミュレーション(11/22) 約30名

○広島市民病院後期研修医研修会(11/27) 約10名

○J A尾道総合病院オペ室シミュレーション(12/28) 約20名

○広島赤十字原爆病院 Web研修会(1/18) 全職員

○荒木脳神経外科病院臓器搬送シミュレーション(3/1) 約20名

②院内体制整備のための啓発物等を作成し、県内臓器提供施設（5 類型・心停止病院） 250 施設へ配布

○「広島県からのお知らせ」意思表示確認用リーフレット 10,000 枚

○「臓器提供適応判断シート」1,000 枚

#### 4) コーディネーターの学会・研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーターが、公社) 日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催するWeb 研修会に参加し、最新の移植情報の収集と資質向上に努めた。

また、多くの研修会がWeb 配信であったため県内の院内移植コーディネーターに参加を促した。

- |   |     |
|---|-----|
| ①日本臓器移植ネットワーク主催等の研修会<br>(Web 7/1、5/12~14、12/17、3/4)                             | 3 回 |
| ②中国四国コーディネーター会議 (Web 6/1、8/19、11/30、2/8)  | 3 回 |
| ③日本脳死脳蘇生学会 (Web 7/24)   | 1 回 |
| ④日本移植学会総会 (Web 9/18~20)   | 1 回 |
| ⑤第 47 回日本臓器保存生物医学会 院内C o 研修会 (Web 11/12~13)                                     | 1 回 |
| ⑥西日本組織移植C o 研修会・他県主催C o 研修会<br>(Web 4/5、4/22、5/12、5/27、6/24、7/2、7/26、2/19、2/20) | 9 回 |
| ⑦京都府内院内臓器移植C o 協議会 (Web 5/29・8/18・12/15)  | 3 回 |
| ⑧滋賀県臓器移植C o 連絡会 (Web 8/26)  | 1 回 |
| ⑨兵庫県臓器移植懇話会 (Web 9/7)   | 1 回 |
| ⑩兵庫県院内体制整備講演会 (Web 12/10、12/20)   | 2 回 |
| ⑪愛媛県臓器移植に関する選択肢提示研修会 (Web 1/14)   | 1 回 |
| ⑫国際シンポジウム「日本とスペインにおける臓器提供」 (Web 1/24~1/25)                                      | 1 回 |
| ⑬いのちの教育セミナー (1/29~2/6)  | 1 回 |

#### 5) 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

本年度、県内の臓器提供事例は脳死下 2 件、心停止後 1 件で、公社) 日本臓器移植ネットワークの指示のもと情報収集と臓器搬送等の対応を行った。そのほか提供に至らなかった 4 件の臓器提供情報に対して、情報収集とその対応を行った。

## 2. 移植医療機関及び摘出協力医との連絡調整に関する事業（定款第 4 条第 5 号）

広島県臓器移植コーディネーター、骨髄説明員及び事務職員が個別に移植医療機関或いは摘出協力医師等との連絡調整を行った。

- ①角膜移植希望者の登録に関する打ち合わせ
- ②献眼の推進に関する打合せ
- ③臓器移植推進の一般啓発に関する打ち合わせ
- ④臓器提供施設への移植医療推進のための打合せ
- ⑤臓器搬送（消防・警察・空港・広島県）に関する打合せ
- ⑥骨髄ドナー登録に関する打合せ